

リクナビ進学ブック
じぶん未来BOOK

「R-CAP」による自己理解をもとに 『じぶん未来BOOK』で将来を考える

— 神奈川・県立 住吉高校 —

取材・文／太田知子



左から
2学年担任
麻生葉子先生
校長
高木克巳先生
前副校長
ちかし
岡野親先生
前総括教諭
木下礼子先生

School Data

生徒数／910人(男子382人・女子528人)／普通科22学級
進路状況(2012年度)／大学・短大進学72.5%、
専各進学14.9%、就職2.0%、その他10.5%
神奈川県川崎市中原区木月住吉町34-1
TEL 044-433-8514
URL <http://www.sumiyoshi-h.pen-kanagawa.ed.jp/>

1学年1学期の 総合学習の流れ

4/17	オリエンテーション+講演会の事前学習
4/24	高校における学習についてノートの作り方
5/8	地域学習：住吉高校の歴史
5/22	進路研究1(職場体験の映像視聴)
5/29	「R-CAP」の振り返り、進路決定に関する講演会(リクルートスタッフによる)
6/12	進路研究2(入試の基礎知識)
6/19	『じぶん未来BOOK』を使ったワークシート
6/26	国際理解テーマ学習 事前学習

2学期は国際理解教育がメインとなり、テーマ別発表会、体験講座、ラテン音楽鑑賞などが行われる。3学期はコミュニケーション力向上のためのプログラムや上級学校研究、卒業生講演が実施された。

『じぶん未来BOOK』を使ったワークシートに取り組んだ感想

- いろいろな体験談を知り、その仕事に対する見方やイメージが変わった
- いろいろな職業の人の高校時代が書いてありその仕事に就くためにどんな準備をすればいいか参考になった
- ちょっとしたきっかけや偶然も大事だと思った
- 夢を実現させている人の成功の秘訣がわかった
- 自分がやってみたいと思うことがたくさんみつかった
- この先どうなるんだろうと不安もありましたが、仕事楽しいものだとか、少しやる気ができた
- 仕事に就いた動機が「あこがれ」という人が多かった。自分もあこがれる仕事をみつけた!

神奈川県立住吉高校は7割以上が大学進学を希望する進学校。また以前から国際理解教育にも力を入れてきた。「昨年度からは『国際社会における自分の役割を考える』というテーマを新たに盛り込み、特色あるキャリア教育を実践しています」と語る学校長の高木克巳先生。

2012年度、同校では「総合的な学習の時間」の内容が刷新された(詳細は左図)。計画を立てたのは、キャリア教育の実践経験豊富な副校長の岡野親先生、総括教諭の木下礼子先生2人に加え、教員歴2年目で1学年担任(当時)の麻生葉子先生。若手ながら生徒に真剣に向き合う情熱が評価されて抜擢された。

1学年の1学期は「自分を理解した上で、高校生活とそれに続く将来の目標を立てる」というテーマを掲げ、適職・適学診断の「R-CAP」、リクルートスタッフを講師に招いての「じぶん未来講演」など、リクルートのサービスを新たに導入した。副校長の岡野親先生は「R-CAP」は前任の県立田奈高校で導入し、成果を感じていたので、ぜひやりたいと思っていました。ま

たキャリア教育において、学校外の教育力を探り入れることは重要だと考えています。教員だけで頑張ろうとしても限界があります」と語る。

『じぶん未来BOOK』に登場する全50人分の感想を書く生徒も

1学年の4月に「R-CAP」の診断結果を見て、5月にリクルートスタッフによる講演で進路の選び方などについての話を聞くと、徐々に進路を真剣に考え始める雰囲気生まれたという。6月の保護者面談では「R-CAP」の診断結果を保護者全員に渡した。「客観的な資料をもとに、早めに将来を考え始めてほしいと伝えることができました」と麻生先生。

7月には『じぶん未来BOOK』を使ったワークシートに取り組んだ。この本について木下先生は「職業人の話が50人分も読める資料は貴重です。また高校時代の過ごし方についての話は、進路決定の道筋がわからない生徒にとっては、とても参考になると思いました」と評価する。ワークシ

トは登場する50人について、感想を一言ずつ書くタイプ。全員分の感想を書くなど、熱心に取り組んだ生徒が多かった。

将来への夢やあこがれをやる気につなげ持続させたい

「今回の取り組みを通して、仕事のやりがいや大変さに気付けた生徒が多かったと思います。また『夢やあこがれがない』という生徒が多いのですが、進路を考える際に必要なのはまさにそれなんだ、と気付けたことも大きな成果です」と麻生先生。

1学期の学習内容を踏まえ、6月には科目選択の予備調査が行われ、9月には最終決定を行った。今年度、例年になく指導がスムーズだったのは、「総合的な学習の時間」の成果だと先生方は感じている。「素直な生徒が多いせいか、やる気を引き出すきっかけを与えれば驚くほど伸びます。今後の課題は、いかにやる気を持続させていくか。そのために、来年度以降も『総合的な学習の時間』をブラッシュアップしたいと考えています」と木下先生。



リクナビ進学ブック
文理科目選択
応援BOOK

自分の興味や将来就きたい仕事に直結したコース・科目選択を促す

かなん

— 大阪・府立 河南高校 —

取材・文／太田知子



2学年担任
黒川佳彦先生

School Data

生徒数／1075人(男子510人・女子565人)／普通科27学級
進路状況(2011年度)／大学・短大進学68.1%、
専各進学19.2%、就職4.1%、その他8.6%
大阪府富田林市錦ヶ丘町1-15
TEL 0721-23-2081
URL <http://www.osaka-c.ed.jp/kanan/>

2012年度1学年総合学習 前期の流れ

4/18	「R-CAP」の実施
5/19	卒業時の自分に手紙を書こう！ ～自分への手紙～
5/30	ポートフォリオを作成しよう！ ～未来への第一歩～
6/6	進路とお金 ～自分ひとりの力で進路実現できるか？～
6/20	入試の基礎知識 ～後悔しないコース選択のために～
6/27	コース・科目選択 ～さあ、いよいよ進路の第一関門！～
7/19	職業調査・仕事インタビュー ～夏休みの課題～
9～10月	3分間スピーチ原稿作成と発表 (クラス予選会)
10/24	進路説明会 ～学部・学科・分野別ガイダンス～
10/25	3分間スピーチ大会(学年大会)

「大学名や学力より、やりたいことを優先した進路決定ができる力をつけることを目指して計画を立てました」という黒川先生。自分の適性を知り、進路選択に必要な知識を得た上で、職業人に取材し、将来についてスピーチする。この流れは、多くの生徒に早い時期から進路に目を向けるきっかけを与えた。

『文理科目選択応援BOOK』を使った総合学習の感想



音楽の先生を志望しています。興味のある学問と仕事を書き出すワークシートに取り組みすることで、大学で学ぶ内容と仕事に就くために必要な素質や考え方の両面から将来について考えることの大切さに気がきました。(寺川和希さん)



ワークシートに興味のある学問や仕事を3つ書き出す作業を通して、医学や薬学など医療関連分野を調べたことは有意義でした。たくさんの選択肢がある中で、やはり看護師を目指したいという気持ちがはっきりしました。(太田紗理さん)



『文理科目選択応援BOOK』だけでなく、「総合的な学習の時間」全体を通して、自分の将来とじっくり向き合うことができました。パレリーナを目指している私にとって、表現力や伝える力が必要な3分間スピーチは特に貴重な体験でした。(岩崎彩果さん)

6月のコース・科目選択をテーマとした授業では、資料をもとに2学年からのコース

文系・理系の度合いが視覚的にわかる「文理メーター」を評価

は左図)。

以上の内容をもとに、将来について3分間スピーチ発表をするという流れだった(詳細は左図)。

大阪府立河南高校のキャリア教育は、主に進路指導部が行う進路行事と1学年の「総合的な学習の時間」を使って行われ、その内容は毎年学年ごとに計画される。2012年度は1学年担任(当時)で担当の黒川佳彦先生がゼロから計画を立てた。

前半の授業を概観すると、4月には適職適学診断「R-CAP」を行い、進学資金、入試、コース・科目選択などについて学んだあと、「じぶん未来BOOK」を参考に、自分の目指す職業の職業人に取材する。取材先は生徒がアポイントメントを取り、「仕事に就いたきっかけ」「仕事のやりがい」などについて質問し、レポートにまとめる。10月には

ワークシートでは興味のある学問と仕事を3つずつ選び、それぞれの内容や、もっと知りたいことなどについて書きます。またワークシートに取り組んで気付いたこと、不安なこと、進路選択に向けて学習面で力を入れたことなども書く。「ワークシートには『興味のある学問・仕事を調べてみよう』とあります。『好き』では得意・不得意で考えてしまいがちですが、『興味』であれば、苦手でも頑張ってみようという前向きになります。この言葉に励まされ、興味を広げられた生徒も少なからずいたと思います。」

進路に目を向けてもらうため
ワークシートは保護者と共有

「文理メーター」の視覚的なわかりやすさも、この本の評価ポイントだったという。

また各学問の文系・理系の度合いを示す「文理メーター」の視覚的なわかりやすさも、この本の評価ポイントだったという。

さらに今回生徒が記入したワークシートは、7月の三者面談で保護者全員に渡した。「早い時期に保護者が進路に関心をもてば、生徒のやる気も高まります。実際、三者面談を機に、進学資金を貯めるためにアルバイトを始めた生徒もいます」と黒川先生。

昨年度の1学年の生徒は進路選択への意欲が高く、進路指導室に相談に来たり、学校見学に行く生徒も例年より多いという。これは昨年度の「総合的な学習の時間」の成果だと校内で評価されている。

またスポーツ運動学や栄養学を志望する場合、大学入試において理系科目は不要なこともあるが、入学後は必ず必要になる。今年度はこの点をふまえて理系を選んだ生徒がいた。これは学問の内容を調べたうえで文理選択をすることを重視した指導の成果だと考えている。

またスポーツ運動学や栄養学を志望する場合、大学入試において理系科目は不要なこともあるが、入学後は必ず必要になる。今年度はこの点をふまえて理系を選んだ生徒がいた。これは学問の内容を調べたうえで文理選択をすることを重視した指導の成果だと考えている。

またスポーツ運動学や栄養学を志望する場合、大学入試において理系科目は不要なこともあるが、入学後は必ず必要になる。今年度はこの点をふまえて理系を選んだ生徒がいた。これは学問の内容を調べたうえで文理選択をすることを重視した指導の成果だと考えている。